

(別記)

## 2019年度錦町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、熊本県南部、人吉盆地のほぼ中央に位置し、町内の中央部を国道219号線が東西に横断し、国道と並行して北寄りに球磨川が流れている。稲作を主体として、葉たばこ、果樹、施設園芸、畜産等の複合経営が主である。

また、農業者の高齢化や後継者不足等の問題も深刻化しており、食料自給力・自給率向上の観点からは、地域の実状に合った農業を展開していき新規需要米や振興作物等の作付拡大を推進する必要がある。

### 2 作物ごとの取組方針等

本町は、約1300haの水田面積があり、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、特に、野菜等の作付及び非主食用米に対する支援を実施し、面積の維持・拡大を図る。

#### (1) 主食用米

米の生産数量目標が減少の一途を辿る中、30年産の作付実績については483haとなっている。基本技術の励行による上位等級米の確保に努め、需要に応じた生産を確保し、有機栽培米等の消費者のニーズに即すとともに、地域性を活かした特徴ある米作りを目指す。

#### (2) 非主食用米

##### ア 飼料用米

主食用米価格の低迷に伴い、飼料用米の推進を図る。特に、飼料用米に関しては、畜産農家との連携まで図れるよう推進する。

また、産地交付金を活用し、多収性品種の作付を支援し取組の拡大を図る。

##### イ WCS用稲

主食用米の需要減が見込まれる中、WCS用稲を転作作物の中心に位置付け、耕種農家と畜産農家との連携による水田から良質の粗飼料生産を行い、畜産農家のコスト低減を図る。

##### ウ 加工用米

焼酎の蔵元が焼酎原料用米の供給量不足を訴えており、多収品種での作付を支援し、安定的な取引を図る。

#### (3) 麦、大豆、飼料作物

地域の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。

(4) そば

地域の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。また、生産性向上のため、排水対策を実施する。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

産地交付金における園芸作物（野菜等）への支援を行いながら、今後作付面積の維持・拡大を図る。

また、振興を図っている「ブロッコリー」、「オクラ」、「ズッキーニ」、「ニンニク類」、「薬用作物」、「トウガラシ」、「かぼちゃ」、「たまねぎ」を振興作物として拡大する。

### 3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	483ha, 2,482t	482ha, 2,463t	500ha, 2,555t
飼料用米	1.4	4	3
米粉用米	0	0	0
WCS用稲	406.5	406	430
加工用米	1.4	1.8	3
備蓄米	0	0	0
麦	27.3	20.8	25
大豆	0	0	0.1
飼料作物	631.8	649	680
そば	0	0.2	1.0
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	65.2	65.6	64.6
野菜	21	20.4	23
ブロッコリー	2	2	2.4
オクラ	1.1	1.3	2
ズッキーニ	4.2	4.9	4.5
ニンニク類	1.4	1.8	1.1
薬用作物	6.2	5	5
トウガラシ	0.2	0.8	1
かぼちゃ	2.6	2.1	2
たまねぎ	3.3	2.5	5
その他野菜	34.1	33	33
花卉・花木	1.5	1.1	1.6
果樹	2.1	1.7	1.6
その他作物	6.5	9.4	5.4

※主食用米の目標値(2019年度、2020年度)において使用した単収は 511kg/10a

### 4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
				2018 年度	2020 年度
1	飼料用米	飼料用米担い手加算 （基幹）	作付面積 (ha)	1. 3 5	3
			反収 (kg/10a)	6 6 6	6 0 0
2	ブロッコリー、オクラ、 ズッキーニ、ニンニク類、 薬用作物、トウガラシ、 かぼちゃ、たまねぎ	重点品目助成 （基幹）	作付面積 (ha)	2 0. 9 7	2 3
3	麦、飼料作物、 そば	二毛作助成 （二毛作）	作付面積 (ha)	4 7 8. 4 6	5 3 0
			水田利用率 (%)	9 1. 0	9 2
4	飼料作物	資源循環の取組 （耕畜連携 基幹、 二毛作）	取組面積 (ha)	3 4 8. 8 9	3 6 3
			作付面積 (ha)	1 0 3 8. 6	1 0 7 5
			実施率 (%)	3 3. 6	3 4
5	野菜、花卉、花木、 果樹、雑穀等	振興作物助成 （基幹）	作付面積 (ha)	4 4. 2	4 2
6	加工用米	加工用米助成 （基幹）	作付面積 (ha)	1. 4	3
			反収 (kg/10a)	6 1 8	( 5 6 0 ) 6 0 0

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。（目標値の上段括弧書きは変更前の数字。）